

Floating Offshore Wind Symposium

浮体式洋上風力シンポジウム

浮体式洋上風力発電が拓(ひらく)く 渡島・檜山地域の未来

令和8年

7月25日 土 13:30-15:30
(受付開始 13:00)

定員300名
(先着順)

会場：函館競輪場2階 テレシアター

函館市金堀町10-8



アクセス 最寄りバス停「競輪場通」

函館駅から バス約10分、タクシー約8分
函館空港から バス約25分、タクシー約10分

※無料駐車場の利用台数には限りがありますので
公共交通機関の利用にご協力ください。

浮体式洋上風力発電の実用化に向けた取組が進むなか、サプライチェーンの一部となる港湾の利活用や、地域経済への波及効果について理解を深めて頂くシンポジウムです。

GX（グリーントランスフォーメーション）政策の動向や、浮体式洋上風力の成長戦略をわかりやすく紹介し、国内で進む先行事例から学びながら、渡島・檜山地域が持つ可能性を一緒に考えていきます。

主催：北海道、函館市、函館商工会議所、函館渡島檜山ゼロカーボン北海道推進協議会、函館港利用促進協議会



基調講演

13:40-14:30

1 (仮) 浮体式に対応した港湾のあり方に関する検討について

国土交通省 港湾局長

安部 賢氏

15分

2 (仮) GX政策の動向と浮体式洋上風力の成長戦略

経済産業省 イノベーション・環境局 GXグループ
脱炭素成長型経済構造移行推進審議官・GXグループ長

伊藤 禎則氏

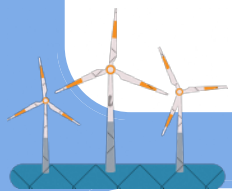
15分

3 (仮) 浮体式洋上風力の先行事例

五島フローティングウィンドファーム合同会社 代表 戸田建設株式会社
常務執行役員・イノベーション本部技術開発統轄部統轄部長

小林 修氏

15分



パネルディスカッション 14:40-15:30

■テーマ (仮) 『来たる浮体式洋上風力時代に向けて』

渡島・檜山地域としてどう取り組むか』

ファシリテーター

一般社団法人 北海道開発技術センター 理事長

橋本 幸氏

パネリスト

1 北海道経済部ゼロカーボン推進監 中富 大輔氏

2 北海道電力株式会社常務執行役員 鈴木 博之氏

3 函館商工会議所会頭 久保 俊幸氏

4 函館市長 大泉 潤氏

参加申し込み

定員は300名で先着となりますので、お早目にこちらのURLもしくはQRコードからお申し込みください(申し込み期限7/21(火))

申し込みQRコード



申し込みURL <https://forms.gle/NjKsUkKSrLRxYzCP8>

お問合せ 函館市港湾空港部港湾課
電話：0138-21-3490

メール：kowan-keikaku@city.hakodate.hokkaido.jp

